

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地				
東日本栄養医薬専門学校		平成15年3月31日		武井 宣之		〒 379-2184 (住所) 前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-266-3300				
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地				
学校法人 山崎学園		昭和42年4月10日		遠山 巍		〒 379-2184 (住所) 前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-266-7977				
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度			
医療	医療専門		医薬学科		平成23(2011)年度	-	平成27(2015)年度			
学科の目的	学校教育法その他、関係諸法規に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い教育を行い、衛生並びに医療に関する知識技術を習得させ、もって社会公共の福祉に貢献できる人材を育成することを目的とする。									
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	登録販売者・NR・サプリメントアドバイザー									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入			1,715 単位時間	1,125 単位時間	330 単位時間	260 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
					104 単位	73 単位	22 単位	9 単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)					
80人	17人		0人		0%					
就職等の状況	■卒業生数(C)		10人							
	■就職希望者数(D)		9人							
	■就職者数(E)		9人							
	■地元就職者数(F)		9人							
	■就職率(E/D)		100%							
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		100%							
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		90%							
	■進学者数		1人							
	■その他									
			(令和4年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)							
		■主な就職先、業界等		(令和4年度卒業生) カワチ薬品、マツモトキヨシ、コスモス薬品等						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載				無					
	評価団体:		受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL					
当該学科のホームページURL	https://www.c-p.ac.jp/fukushi									
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A:単位時間による算定)									
	総授業時数		1,715 単位時間							
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		200 単位時間								
うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間								
うち必修授業時数		1,715 単位時間								
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		200 単位時間								
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間								
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		200 単位時間								
(B:単位数による算定)										
総授業時数		単位								
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位								
うち企業等と連携した演習の授業時数		単位								
うち必修授業時数		単位								
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位								
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位								
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位								
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		3人							
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		11人							
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人							
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		3人							
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		3人							
	計		17人							
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		9人							

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本学科は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に等に関する法律(以下「医薬品医療機器法」という)に基づく一般用医薬品取扱者の資質の確認の為に実施される、都道府県知事による「登録販売者試験」受験により有効な実務経験を身に着けるため6か月間の校外実務実習が必修科目となっている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

近年の多様化複雑化するドラッグストア業界等に対応出来る人材育成の為に、教育課程編成委員会からの意見、特に現在社会で求められているスキル等の意見を取り入れ、職員会議・教科担当者会議等で内容に関する審議を行い、委員会を教育課程の編成機関として位置づける。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
武井 宣之	東日本栄養医薬専門学校	校長辞任中	—
小林 正実	一般社団法人 群馬県薬剤師会	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	①
神保 京子	公益社団法人 群馬県栄養士会	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	①
竹村 奈美	株式会社 クスリのアオキ	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	③
三田 賢亮	株式会社 MITAセントラルキッチン	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	③
茂木 健	東日本栄養医薬専門学校	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	—
狩野 こず恵	東日本栄養医薬専門学校	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	—
白石 久美子	東日本栄養医薬専門学校	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年6月25日 13:30～14:30

第2回 令和4年10月29日 13:30～14:30

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

カリキュラムの編成においては、多様化するドラッグストア等の現状を編成委員会の意見を参考に登録販売者として必要な知識に止まらず、販売技術の向上等のカリキュラムの充実に活用している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
 企業が現場で求める栄養士像を踏まえ、職業に必要な専門知識を教授する事に重点を置いている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

① 一般用医薬品販売企業(ドラッグストア・レギュラーチェーン店)本社との間で、校外実務実習の受入覚書を交わし、学生としての身分ではなく、従業員の一員としての実習に重きを置き、現場実務を体験させている。但し、平素の学習に支障をきたさないような学生としての勤務体系の確保にも併せて配慮している。

② 担任が、企業等を月1回程度巡回して校外実務実習状況の聞き取りと、改善や要望意見の聴取を実施。更に問題があれば、個別に対応している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
校外実務実習	登録販売者として、医薬品に関する情報知識を習得し、更に接客技術を向上させる。	マツモトキヨシ クスリのアオキ ウ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

座学としては、医薬品の販売に伴う副作用やリスクを念頭において、主に現場経験のある薬剤師(講師)又は現役薬剤師(講師)による授業を確保している。

群馬県薬剤師会研修会等への参加、薬品メーカーの勉強会への参加研修を依頼している。

校外実務実習は、実習の担当者として都道府県の試験の条件で、薬剤師又は登録販売者の下での実習と定義付けられ

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	カラーセラピスト講師養成講座	連携企業等:	トゥルーカラーズ
期間:	45198	対象:	教員
内容	カラーセラピスト講師になるための基礎的知識		
研修名:		連携企業等:	
期間:		対象:	
内容			
研修名:		連携企業等:	
期間:		対象:	
内容			
②指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	精神障害の学生への支援と配慮	連携企業等:	本校
期間:	45160	対象:	全職員
内容	グレーゾーンの生徒に対する対応		
研修名:	ハラスメント防止について	連携企業等:	群馬県私学振興会
期間:	8/25	対象:	職員
内容	ハラスメントの現状と注意点		
研修名:		連携企業等:	
期間:		対象:	
内容			

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	登録販売者の役割	連携企業等:	ドラッグストア
期間:	8月頃	対象:	教員
内容	最新の医薬品知識と登録販売者の役割		

研修名:		連携企業等:	
期間:		対象:	
内容			

研修名:		連携企業等:	
期間:		対象:	
内容			

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	発達障害について	連携企業等:	群専各連
期間:	12月頃	対象:	教員
内容	発達障害とグレーゾーンへの対応		

研修名:		連携企業等:	
期間:		対象:	
内容			

研修名:		連携企業等:	
期間:		対象:	
内容			

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

人々の食と健康を管理、啓蒙する業務に第一線で従事する栄養士養成校の責務として、絶えず時代の流れに伴い変化する情報を把握し、その情報を精査して分析し、社会に貢献できる栄養士教育に活用することを目的として各学校関係者から意見指導を受けることに配慮しています。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・教育人材像は定められているか
(2) 学校運営	事業計画は定められているか
(3) 教育活動	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材
(4) 学修成果	就職率の向上が図られているか
(5) 学生支援	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか
(6) 教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている
(7) 学生の受入れ募集	学生の募集活動は、適正に行われているか
(8) 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

評価書を現場職員に職員会議等を通じて伝達、改善意見や検討課題の洗い出しと教育効果向上のための具体的方針施策の決定等に活用しています。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
中島 千絵	東日本栄養医薬専門学校父母の会	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	父母の会 会長
小林 正実	一般社団法人 群馬県薬剤師会	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	企業委員
新保 京子	公益社団法人 群馬県栄養士会	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	企業委員
竹村 奈美	株式会社 クスリのアオキ	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	企業委員
三田 賢亮	株式会社 MITAセントラルキッチン	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年)	企業委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.c-p.ac.jp/fukushi>

公表時期: 令和5年6月

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動その他学校運営の状況に関する情報を提供し、社会全体から信頼及び企業等との連携や協力を得る。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	・校長名・所在地・連絡先等・特徴・沿革、教育目標・経営方針・教育指針
(2) 各学科等の教育	・入学者選抜の方針・方法、定員数・入学者数・在学者数・カリキュラム
(3) 教職員	・教職員数、教職員の組織・専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技への取り組み状況、就職支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動(サークル活動、学生会活動)等
(6) 学生の生活支援	・学生支援への取り組み状況
(7) 学生納付金・修学支援	・学生納付金の取り扱い、活用できる就学支援措置の内容
(8) 学校の財務	・事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など
(9) 学校評価	・自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()

URL: <https://www.c-p.ac.jp/fukushi>

公表時期: 令和5年6月

授業科目等の概要

#REF!	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○			コンピューター	・Windows11の基礎 ・ワード入門 起動・終了、画面構成、文字の入力、文章の入力・訂正、保存、文書の作成 ・ワードの活用 編集機能、表の編集、ビジュアルな文書、POPの作成 ・エクセル入門 データ入力の基礎、基本的なワークシートの編集・書式設定、グラフの作成・設定の変更 ・エクセルの活用 関数	二年次後期	30	2			○	○			○		
2	○			登録販売者入門	・登録販売者の基礎知識 ・セルフメディケーションについて ・POCDについて ・PB、NBについて ・NBからPBへのスイッチング、ロールプレイング	一年次前・後期	30	2			○				○		
3	○			登録販売者の責務	・登録販売者とは ・一般用医薬品について ・効能と副作用について ・説明責任について ・類似薬品の消費者への提示について ・脱法ドラッグ・購入品の量	二年次前期	30	2			○				○		
4	○			人材育成論	・コミュニケーション技法、敬語について ・仕事の基本とビジネス文書 ・一般教養 ・経済環境の変化と企業	年次後期・二	30	2			○					○	
5	○			ビジネスマナー	・ビジネスマナーについて 自己紹介・あいさつ・身だしなみ ・敬語 二重敬語、使い分け、名詞の尊敬、謙譲 ・電話対応、来客対応 受付、案内、上座・下座について 紹介マナー、名刺交換	二年次後期	30	2			○					○	
6	○			販売士	・小売業の種類 ・マーチャンダイジング ・ストアオペレーション ・マーケティング ・販売・経営管理	一年次前・後期	30	2			○					○	
7	○			ハーブと健康	・ハーブの基礎知識 ・ハーブ各論 ・アロマセラピーの基礎知識 ・精油の基礎知識 ・セルフマッサージについて	二年次後期	30	2			○	○				○	
8	○			体育	・オリエンテーション後グループによる選択種目の実施 バスケットボール テニス サッカー ウォーキング ランニング ソフトボール バドミントン その他	二年次前・後期	30	2			○	○				○	
9	○			保健体育	・応急手当とは ・スポーツにおける外傷 ・体格や体力について ・運動とは	一年次・前期	15	1			○					○	
10	○			メンタルヘルス	ストレスとメンタルヘルス、心のセルフケアに関する内容を主とし、メンタルヘルス不調の種類や対処法、ストレス緩和法について学習する。	二年後期	30	2			○				○		
11	○			スキンケア	皮膚の構造を理解し、健康的な肌を維持するための知識を学ぶ。	二年後期	30	2			○				○		
12	○			POPコピーライター	広告に関する基礎知識を学び、POPの目的とその役割を理解する。また実習を通して、販売促進効果の高いPOP作成技術の習得に挑む。	二年後期	30	2			○					○	
13	○			販売実務演習	健康やセルフケアに関わる多様な商品についてグループディスカッション・発表をして理解を深める。校外実務実習にむけ、ドラッグストア業界の専門性を知る。	一年前期	30	2			○				○		
14	○			接客英語	この授業では基本的な接客業のフレーズや業の名前や体調等を英語で理解できるよう学修します。	一年前期	15	1			○					○	
15	○			接客中国語	この授業は医薬品販売と薬剤師調剤における「医薬接客中国語」を日本語で教授して習う授業である。医薬関係の現場ニーズに基づきコミュニケーション情景の形にして中国語発音と文法・句型概説を始め、日常会話と薬局、病院での主な実用表現を集中的に学ぶ。	二年後期	15	1			○					○	
16	○			校外実務実習	・登録販売者の基本的な業務内容を実際の店舗運営に参加しながら学び、一般用医薬品の商品知識に止まらず広く店舗運営・接客マナーなども学ぶ。	一年次後期	##	5			○		○			○	○
17	○			医薬品概論	・医薬品の本質 ・医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因 副作用、不適正な使用と有害事象、他の医薬品や食品との相互作用と飲み合わせ、小児や高齢者等への配慮、プラセボ効果、医薬品の品質 ・適切な医薬品選択と受信勧奨 ・薬害の歴史 医薬品による副作用等に対する基本的考え方、医薬品による副作用等にかかる主な訴訟	一年次前・後期	30	2			○					○	

36	○	食品機能概論	NRサプリメントアドバイザーの役割を理解し、食品に含まれる成分の機能について学習する。	一年前期	15	1	○		○	○			
37	○	行動科学論	行動科学の立場から現代学習理論の原理を理解し、行動療法に結び付ける方法と行動変容について学ぶ。	一年前期	15	1	○		○	○			
38	○	NR対策ゼミ	NR・サプリメントアドバイザー通信講座の閲覧。各章の対策問題による試験対策。	二年	##	9	○		○	○			
39	○	医療事務	医療機関の概要・医療保険のしくみ、その他の関連制度薬局の基礎知識、調剤報酬算定方法、レセプト作成方法	一年	75	5	○		○	○			
40													
41													
42													
43													
44													
45													
46													
47													
48													
49													
50													
51													
52													
53													
54													
55													
56													
57													
58													
59													
60													
合計					39	科目	1715 単位 (単位時間)						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1715単位時間全てを履修するものとする		1学年の学期区分	前後期
履修方法：各学期末において行なう試験、実習等の成績を勘案して行い、6割以上		1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。